

# 委員会会議録

(一社)滋賀県トラック協会

会議名	平成25年度 第6回 適正化事業運営委員会(新旧合同)
開催日時	平成26年3月12日(水) 13:30~16:00
開催場所	滋賀県トラック総合会館 3F「研修室1」
出席者	委員:15名、事務局:7名

## 協議内容

### 1. 挨拶

開会にあたり岡田本部長並びに田中委員長挨拶があった。

引続き田中委員長より、次期本委員会の正副委員長の選出方法について諮られた。田中委員長の一任を受け、委員長には副会長の外村 善一氏、副委員長には理事の丸山 謙次氏が推薦され満場一致で承認された。

外村委員長並びに丸山副委員長の就任の挨拶の後、外村委員長の進行により議事運営、以下 事務局より議題に基づく資料説明がされた。

### 2. 議題

#### (1) 平成25年度適正化事業実施状況について

##### 巡回指導結果等について

- ・指導結果の否の項目について、通報制度(H25/10スタート)の実施状況また社会保険未加入、高速道路最高速度超過(リミッターの不正)等に対する指導の現状について質疑がなされた。
- ・速報については滋ト協から運輸支局への通報実績は現状なし、その他通報は巡回チェックにおいて、悪質と思われるものについては指導し、3カ月以内の改善報告書の提示を求めている。改善報告の無い場合は支局報告となるルールがある。  
それとは別に一般からの通報等の端緒も踏まえ、運輸支局、労働基準監督署が立ち入り監査を精力的に実施されているのが現状です。
- ・高速道路最高速度超過トラックに対する取締まり状況等については、近々開催の高速安全協議会の席で取締まりの要望をしていきたい。
- ・適正化より、巡回についてここ10年を振り返って当初はD・Eランクが70%強あり、結果として改善報告書提出要請、運輸支局の監査等から各事業者の取り組み変化、Gマーク取得の定着化の影響もありH25年度はDが15%、Eが11%の計26%のレベルに達し全体的に改善努力されており良くなってきた。

##### トラック事業者と荷主とのPS構築セミナーについて

- ・事業者45名、荷主31名 合計76名の参加があった。  
次回開催においては更なる参加者増が期待できるような取組みを要望された。
- ・セミナー開催時のアンケート結果について  
会員、荷主双方ともサーチャージと労働災害防止に対する講演が役立った

との回答があった。

(2) 平成 26 年度事業計画及び予算(案)について

予算(案)の説明

- ・パソコン EX-P(ウィールス問題)への対応について  
対象機種については 2 年かけて見直し、徐々に換えていく。

事業計画(案)の説明

- ・巡回計画については目標 340 件/年とする。
  - ・原価意識向上のためのセミナーについて、支部で予算組みし独自開催を予定する場合講師の手配をお願いしたいという要望があった。
- 安全性評価事業の説明会(案)の開催について
- ・日程の確認  
～ について全員一致で確認された。

(3) その他

優良事業所(支部長)表彰について

- ・県ト協の事故防で行う表彰とは別の表彰である。  
(G マークを持っている事業所が対象で安全環境委員会が担当する)
- ・今般、湖南支部から提案された表彰については  
G マークを持っていない事業所が対象で適正化事業運営委員会が担当する。
- ・支部長表彰第 3 条の表彰基準について、統一的な規程を設けて県内各支部が行う方向で検討していく。
- ・検討の結果、次回の委員会までに委員長、事務局一任のもと表彰内規第 3 条の表彰基準について整理、調整したたき台を提示する。

・《資料》

1. 平成 26 年度全ト協適正化事業活動方針

- ・環境対応トラックの新車導入に対する補助申請受け付け開始の件

最後に今年 3/末を持って退任される井波、寺岡適正化事業指導員から退任の挨拶を頂いた。

今回は H26 年 6 月 11 日(水) 13 時 30 分から開催で決定し、終了した。

以 上